

山形県・酒田市病院統合再編協議会が設立されました

●お問い合わせ／市企画調整課企画調整係 ☎26-5704

慢性期医療／主として症状が安定し、疾病と障害を抱えている患者に対して長期間にわたって提供する医療

統合再編の理念と基本方向

新たな病院は、「安心、信頼、高度」の医療提供、「保健、医療、福祉」の地域連携を理念とし、次の6つの基本方向で病院機能が協議されます。

新たな病院機能

【理念】・「安心、信頼、高度」の医療提供
・「保健、医療、福祉」の地域連携

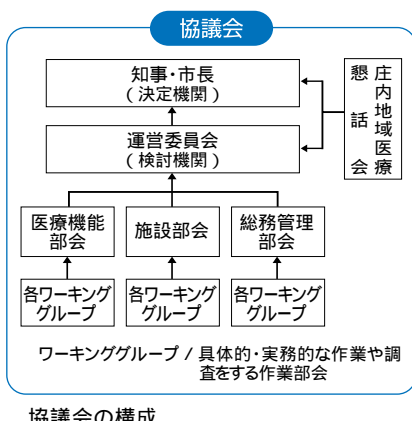
【基本方向】

- 1 将来の医療需要を視野に入れた病床規模
- 2 三次救急医療など、地域に不足する医療機能の提供
- 3 質の高い医療の安定的供給のための診療機能の再編
- 4 地域の医療機関等との連携の強化
- 5 健康増進活動や在宅医療を支援する機能の整備
- 6 持続可能な経営形態

三次救急医療／一般病院では対応できない重症救急患者に対応する高度な診療機能をもつ24時間体制の医療(救命救急センター)

統合再編協議における理念と基本方向

再編後の診療科目、規模、配置等を示す「整備基本構想」の策定、平成19年度内には施設整備等を示す「整備基本計画」の決定に向け、部会等で具体的な検討が始められます。協議会は、各部会、運営委員会のほか、山形大学、東北大学、医師会、両病院など医療関係者で構成される「庄内地域医療懇話会」の意見を聞きながら進められます。



第1回協議会(11月20日・総合文化センター)

なぜ、今、統合再編が必要か

県立日本海病院と市立酒田病院は多くの診療機能が重複し、競合しています。また、医師の臨床研修

制度等の影響から医師不足が発生し、医師の勤務状況が厳しくなっています。さらに医師が常駐しない診療科もあり、十分な医療提供ができにくくなっています。

一方、診療報酬の改定や病床数の削減という国の方針が示される中、県でまとめた「本県における医療提供体制の基本方向」において、庄内地域の基準病床数は、現状より将来的に約100床のベッドが過剰となることが見込まれています。

また、将来的に、市民の皆さんが安定して高度医療、急性期医療、慢性期医療を受けられる体制をつくるためには、両病院の医療提供機能を集約したうえで再編する必要があります。

こうしたことにより、地域の開業医との連携の強化や、保健、医療、福祉を、安定的に提供できる仕組みづくりがしやすくなり、北庄内地域で一定の医療提供が完結できるようになります。

急性期医療／主として、急性増悪を含む発症して間の無い患者、または症状が不安定で回復期にある患者に対する一定期間の集中的な医療

今後のスケジュールについて

今後は、平成18年度中に、統合

協議内容は、随時本紙等でお知らせしていくとともに、この統合再編についての出前講座等の開催を予定しています。市民の皆さんに協議内容を十分理解していただき、ご意見を取り入れた協議にしていきたいと考えています。